

事務事業評価票

所管部長等名	農林水産部長 橋口 尚登
所管課・係名	農地整備課 農地整備係
課長名	潮崎 勝

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	市内一円土地改良整備事業		「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	市内一円土地改良基盤整備事業
会計区分	一般会計			
予算の事業名	市内一円土地改良整備事業			
事業コード(大-中-小)	15	03	05	
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第4章 豊かさにとぎわいのあるまち		
	施策の大綱(節)【政策】	①豊かな農林水産業のまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	①経営安定を目指した農業の振興		
	具体的な施策と内容	(4)生産条件の整備		
根拠法令、要綱等	土地改良法			
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 ● 一部委託 <input checked="" type="radio"/> その他(工事請負)		<input type="radio"/> 全部委託)	法令による実施義務 (該当欄を●)
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	農道・排水路	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)	排水路や農道等の農業生産基盤が整備され、地域農業の振興と農業経営の安定化、農村環境の改善が図られる。
	内容 (手段、手法等)	八代市の農業振興地域は、古くからの干拓事業により造成され、排水路が未整備のほ場では、常時地下水が高く、排水不良によって農作物生産の再編の阻害要因となっている。そこで、排水路や農道を総合的に整備し、農地の汎用化による生産性の向上と農業経営の安定化を目指す。			
事業開始時点からこれまでの状況変化等	本市の農業は、昭和40年代からい草を中心に発展してきたところであるが、農村部の道路や排水路は都市部に比べ整備が遅れ、宮農上の支障となっていた。そこで昭和52年度から本事業に着手し、補助事業の県営事業や団体営事業、非補助融資事業とともに農業基盤の整備を推進してきたものである。しかしながら、ここ数年の国の農業農村整備予算は激減し、特に県営事業などの補助事業の採択も厳しい状況となっている。 このような中、農村部では未だ未舗装の道路や土水路等も多く存在し、農作物の価格低迷と農業資材の高騰などの厳しい農業情勢にあって、生産条件の改善のための工事要望も多く寄せられている。				

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込		
コスト	総事業費	千円	280,220	267,222	245,700	279,546	281,884	277,290		
	事業費(直接経費)	千円	242,420	230,822	210,000	243,846	246,184	241,590		
	財源内訳	国・県支出金	千円	11,500	8,237		4,500	10,000	10,000	
		使用料・手数料	千円							
		市債	千円	29,600	0	29,600	29,600	29,600	29,600	
		その他()	千円			8,200				
	一般財源	千円	201,320	222,585	172,200	209,746	206,584	201,990		
概算人件費(正規職員)	千円	37,800	36,400	35,700	35,700	35,700	35,700			
正規職員	従事者数	人	5.40	5.20	5.10	5.10	5.10	5.10		
	臨時職員等従事者数	人								
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画	
	①	校区要望に対する対応率(対応件数/工事関係要望件数×100)	工事等により対応を行った割合が高いほど、農村環境の改善がなされ、市民サービスの向上に貢献しているため、指標として設定した。	%	31	27	31	35	35	35
	②									
(記述欄)※数値化できない場合										

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 本市の基幹産業である農業の発展に寄与するため、道路や排水 路等の生産基盤について、道路の拡幅や舗装、土水路など、未整備 の排水路の改修を行い、ほ場条件と農村環境を改善するものでは あるが、未だ未舗装の道路や土水路等も多く存在し、農作物の価格低迷 と農業資材の高騰などの厳しい農業情勢にあつて、生産条件の改善 のための工事要望も例年多く寄せられている状況にある。 事業実施にあつては、施設の構造や周辺の状況、気象条件等を 考慮し設計指針に基づき計画し、適切な施工を行うため、管理監 督、工事検査など技術的な専門性を有し、施設の品質を確保するた めに市が自ら行う必要がある。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B (現状分析等) 工事要望が年々多く寄せられている状況で、限られた予算の中 で、十分な対応が出来ないため、特に優先度と必要性が高い箇所か らの整備を行っており、さらに校区のバランスを踏まえ、より多くの要 望に対応すべく、整備箇所を抽出し、工事を行っている。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) 要望は地域によって内容も様々であるが、維持管理において、これ まで農家が主体となつて行われていた排水路の泥上げ等の作業や 材料支給による地元施工も農業者の高齢化や後継者不足などの理 由から困難な状況になってきている。このことから、工事要望は年々 増加している状況にあり、これまでも補助事業の県営事業や団体営 事業、非補助融資事業等の他事業と連携し有効に事業を推進して いる。しかしながら、限られた予算、担当職員数が削減される中、よ り多くの要望に対応するためには、引き続き工事コスト縮減、事務の 簡素化・効率化に努める必要がある。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 校区からの要望件数が増加傾向にあり、本事業の需要が高まっているが、限られた予算の中 で十分な対応が出来ず、緊急性、重要性を精査して事業執行を行っている。農業者の高齢化 や後継者不足による耕作放棄地の拡大を防止するとともに、優良農地を維持し、営農に意欲 のある担い手に利用集積を押し進め、本市農業の発展に寄与するため、真に必要な予算確保 に努め、市民サービス向上を図る。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 ①担当職員数が削減される中、より多くの要望に対応すべく、さらなる工事コストの縮減に 努めると共に事務の簡素化・効率化を図る。 ②国や県からの補助事業を最大限活用する。 ③財政当局と協議しながら、真に必要な予算の確保に努め、市民サービスの向上を図る。 ④地元からの要望に関しては、市がやるべきものと市民に協力をお願いするものを区別 し、行政と市民協働によるまちづくりを推進するため、市民意識の高揚を図る。	改革改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------